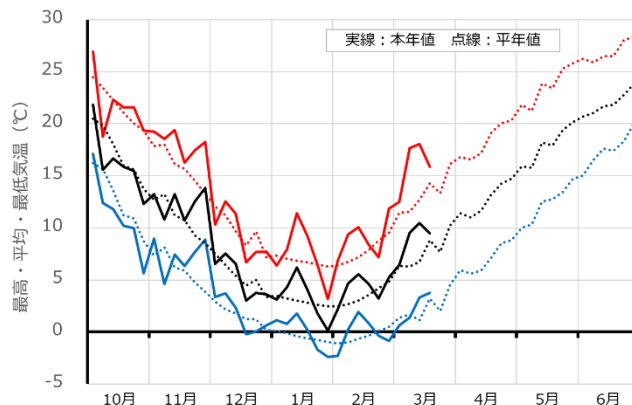


適期の防除と実肥施用で品質・収量確保!

1. 気象および麦の生育状況

積雪の多かった昨年と比べて冬期の降雪が少なく、2月以降気温が高く推移したため、昨年より **出穂期が2週間程度早まる** ことが見込まれます。

適期防除と必要に応じた実肥を施用しましょう。



麦作期間の気温の経過

2. 品質・収量確保に向けた管理

(1) 赤かび病防除

1回目の防除適期は開花始め～開花期です。

開花状況を確認して適期防除に努めましょう。

「びわほなみ」は、赤かび病に弱いので、必ず2回防除を行いましょう。

「農林61号」は、1回目の防除後、曇雨天が続く場合は1週間後に2回目の防除を行いましょう。

【防除適期の目安】 ※今後の気象状況によって、出穂時期は前後することがあります。

○びわほなみ **2回防除必須です！状況により3回目の防除が必要です。**

| 播種時期 | 出穂期の予想 | 1回目の防除 (開花期) | 2回目の防除 (1回目の1週間後) |
|-------|---------|-----------------|----------------------|
| 11月上旬 | 4月5日頃～ | 4月15日頃～ | 4月22日頃～ |
| 11月中旬 | 4月13日頃～ | 4月20日頃～ | 4月27日頃～ |

○農林61号

| 播種時期 | 出穂期の予想 | 1回目の防除 (開花期) | 2回目の防除 (1回目の1週間後) |
|--------|---------|-----------------|----------------------|
| ～11月上旬 | 4月8日頃～ | 4月18日頃～ | 4月25日頃～ |
| 11月中旬 | 4月15日頃～ | 4月22日頃～ | 4月29日頃～ |

(2)実肥施用

実肥は収量増加やタンパク質含有率向上に効果があります。

出穂 10 日後に実肥を施用しましょう。

【実肥量(窒素成分)の目安】

| | |
|-----------------------------------|-----------|
| 穂数が多い場合(300 本/m ² 以上) | 3~4kg/10a |
| 穂数が少ない場合(300 本/m ² 未満) | 2~3kg/10a |

※現在、莖数が少なく葉色が淡い場合は、出穂 10 日後の実肥に加えて、走り穂が出る直前の4月上旬頃に窒素成分で2kg/10a を追肥し、子実粒数や粒重を向上させましょう！